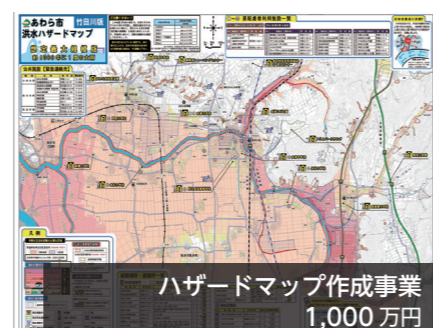


各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
<b>一般会計</b> (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	19,027,877	18,139,539	888,338	236,307	652,031
<b>特別会計</b> (保険料などの特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)					
国民健康保険特別会計	2,909,460	2,857,008	52,452	0	52,452
後期高齢者医療特別会計	376,925	376,665	260	0	260
農業者労働災害共済特別会計	2,052	1,259	793	0	793
<b>企業会計</b> (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	795,360	719,781	75,579	0
	資本的収支	68,722	183,552	△ 114,830	25,513
公共下水道事業会計	収益的収支	1,183,060	1,142,737	40,323	0
	資本的収支	600,010	987,193	△ 387,183	13,808

主な事業の決算額 一般会計



# 令和2年度 決算

問合せ  
財政課  
73-8008

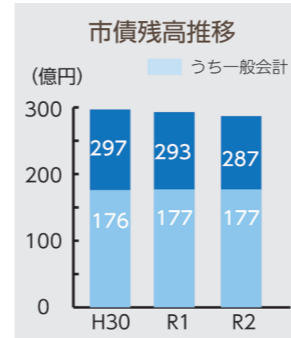
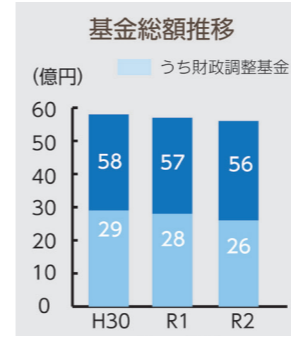
一般会計では、新型コロナウイルス感染症に関連した特別定額給付金やあわらっこ子育て応援給付金の給付のほか、小中学校におけるタブレット端末の導入、芦原温泉駅周辺整備事業の増などにより、歳入歳出とも前年度を大幅に上回る決算額となりました。

市の貯金 — 基金残高

市の借金 — 市債残高

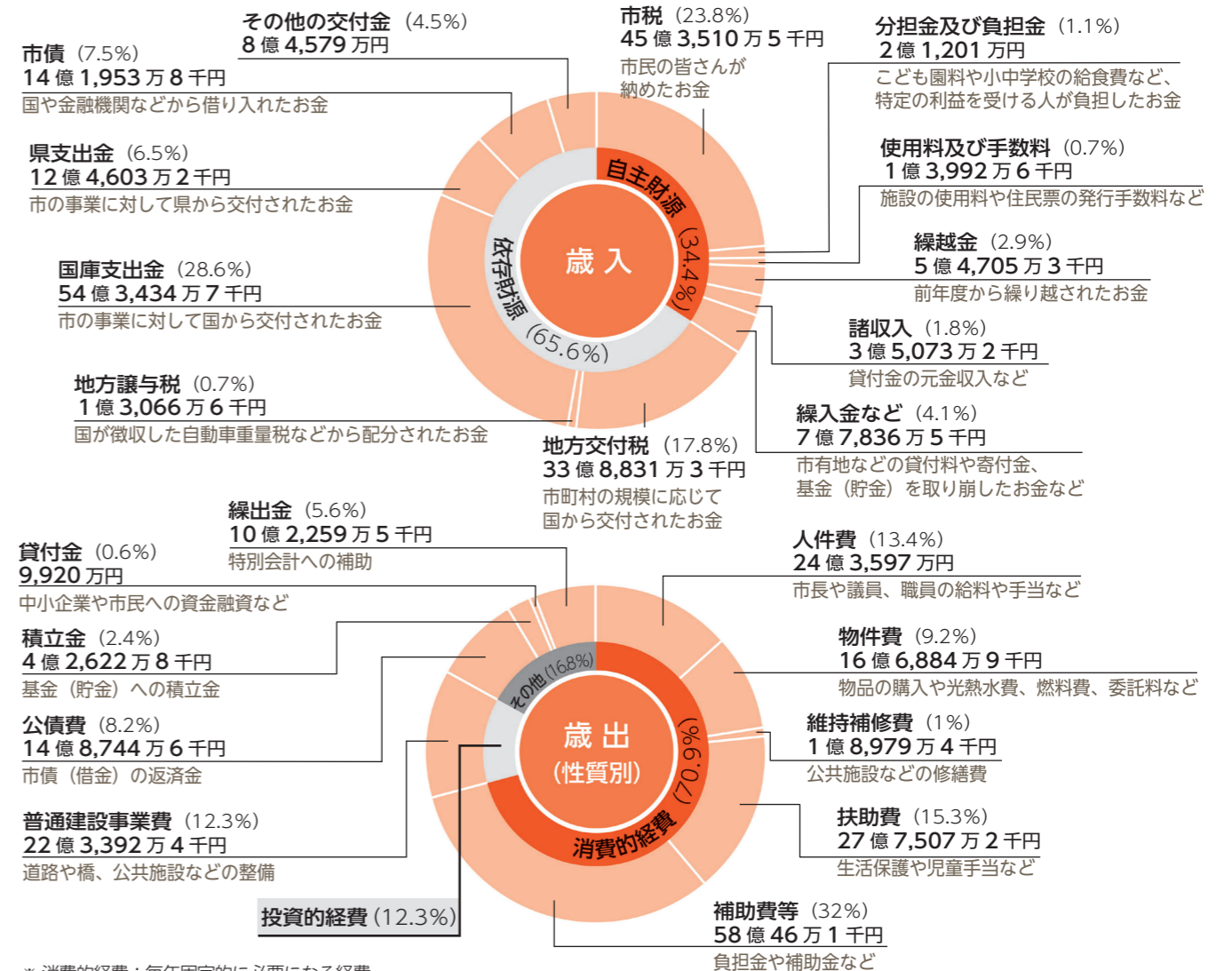
16種類の基金(貯金)があり、総額は約55億8000万円となっています。そのうち46.9%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。令和2年度は、約2億円を取り崩しています。

市の借金である市債の現在は約286億8000万円です。前年度と比較して、一般会計で約2000万円、その他の会計で約5億5000万円減少しています。公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。



一般会計歳入決算額  
**190億** 2,787万7千円  
(対前年度比 24.3%増)

一般会計歳出決算額  
**181億** 3,953万9千円  
(対前年度比 22.9%増)



※ 消費的経費：毎年固定的に必要な経費。  
投資的経費：道路、公園、学校などの整備に対する経費。普通建設事業費と災害復旧費からなる。